

競技ルール

本大会は、一般社団法人 全日本硬式空手道連盟の審判規定を準用して行うものとします。

1. 組手試合

試合は1本勝負 勝負は1本勝ち 又は判定 或いは則、失格等により決めます。

2. 1本及び技ありの判定基準

- ① 当身技のみで打倒した場合
- ② 3連続技が確実に決まった場合 ※相手の技を挟んではいけない
- ③ 相手と5ポイント差が生じた場合
- ④ 打撃技にてダウンと同等のダメージを受けていると判断した場合
※体がふらついている状態 ※選手の安全を優先に判断する
- ⑤ 以上に示した1本に近い攻撃で的確に定めた防具位置にコンタクトした場合、技ありとし1ポイントを与える。
上段の蹴りにおいては2ポイントを与える。
- ⑥ 相手が転倒した際、瞬間的に寸止めを決めた場合、完全制圧（自分が仕掛けて）2ポイント
それ以外（バランス崩し転倒）は1ポイントとする。 ※倒れた選手からの攻撃は禁止しないが、ポイントにはならない。

3. 試合時間

- ① 試合時間は一般・高校のクラスは2分の流し 中学・小学・幼児のクラスは1分30秒の流しで行います。
※一般決勝のみ3分の流し ※各コート決勝戦まで進めます。
- ② 延長戦 全てのクラス:1分とします。
延長は1回までとし、延長で得点差がない場合は判定をもって決めます。

4. 禁止事項

- ① 安全防具以外への直接打撃 ② 転倒者への直接加撃 ③ ローキック
- ④ 相手をつかむ行為 ⑤ 投げ技 ⑥ バックハンド
- ⑦ 関節技 ⑧ 時間を浪費する行動 ⑨ 挑発的な言動
- ⑩ 自ら相手に組み付く行為(クリンチ)及び技を極めた後、故意に場内を逃げ回る行為。
- ⑪ 中学生以下のクラスは掌低打ちなどの開手技を反則行為とする。
- ⑫ 肘打ち、上段への膝蹴り、手や腕で相手を引き寄せでの加撃。
- ⑬ 足払い是一般有段の部に限り認める。その他のクラスでは禁止事項とする。

5. 場外注意

コートから足が1足分出た時点で場外とします。1回目から相手に1ポイントを与えます。

6. 形試合

- ① 小学生:基本形 (1分以内) …主審の合図から演武を終了し、結び立ちになるまで(以下同じ)
※基本形＝普及形・平安・ピンアン・ゲキサイ・太極/左記に該当しない場合は1分以内の形
- ② 中学生以上:自由形 (2分以内)
- ③ 一般部:決勝のみ時間制限なし

※小学生は同じ形を繰り返しても良い、また決勝戦は自由形(2分)とする